

4 学科試験

チェックポイント

- 学科試験(作文を含む)は、職務遂行に必要な知識を持っているかどうか判断するために実施しているか
- 作文のテーマとして、「私の生い立ち」「私の家族」等本人の家庭環境に関するものや、「尊敬する人物」等思想・信条等を推測するようなものを課していないか

(1) 採用後の職務との関連を重視した試験

採用選考試験における学科試験の内容には、採用後の職務遂行と何の関係があるのか疑問に思われる例が見受けられます。入学試験と採用試験との相違を認識し、職務との関連を重視して実施してください。

選考試験におけるペーパーテストの結果と、採用後の能力発揮との相関関係についても十分検討し、正しい採用選考結果が得られるように努めてください。

(2) 作文

作文は、与えられたテーマのねらいや意図をよく理解したうえで書いているか、誤字や脱字は多くないかなどをみることで、職務の遂行に当たり必要な知識や理解力・注意力を有しているかどうかを判断するために実施するものです。

そのテーマについて、本人に責任のない事項や本来自由であるべき事項を、直接または間接的に書かせていないか十分留意する必要があります。たとえば、「私の家庭」「私の生い立ち」など本人の家庭環境に関するテーマや「尊敬する人物」など本人の思想・信条に関わるテーマを書かせている場合がありますが、その人の家族状況、思想・信条を知ることになり、就職差別につながるもととなりますので、これらのテーマは出題しないよう留意する必要があります。

また、応募者にとって「書きづらいもの」「他人に言いたくないこと」あるいは「触れられたくない事項」があります。たとえば、両親を早く亡くした応募者に「家族」について書かせたり、つらく苦しい日々を過ごしてきた人に「生いたち」を語らせるのは、その人にとってどんな気持ちになるかよく考え、このようなテーマの出題は避けてください。

編集のような職務につく場合にはある程度以上の文章力が必要ですが、なかには安易に作文を課したり、あるいはその人の考え方や家庭状況を調べる手段として用いられている場合があります。こういった選考は、就職差別につながるおそれがありますので、行わないようにしてください。

5 適性検査

チェックポイント

- 適性検査を、その目的外に使用していないか
- 適性検査の実施時期や方法等が適切かどうか
- 適性検査の実施や判定及びその利用には、専門的知識のある人があたっているか